

短期集中型講座

基本を押さえる

内部監査基礎講座

～内部監査の実務と理論を基礎から習得する短期養成講座～

◆ 開催主旨 ◆ 藤井講師からのメッセージ

企業経営や不正対応において内部監査が重視される中で、本講座は内部監査に所属されて間もない方や実務経験が短い方が監査の基本をあらためて押さえるための講座です。特に企業活動や経営管理に長年の経験があっても内部監査のイメージはあっても実務経験はいまいちという方に監査業務を進めるポイントを実務と理論の両面からセミナー形式でお伝えします。内部監査の基本には内部監査の組織内の位置づけや役割を含むマクロ面と監査の具体的手続きや方法論などのミクロ面の両方を含みます。

日本では会計の基本となる簿記のボの字も知らずに経理部長に就任する例はなくても、監査のカの字も知らないのに監査部長に選任される例は見られます。また監査法人で監査を経験した転職組が多い欧米企業の監査部に比べて、日本では人事異動で監査部に配属されて初めて監査を経験するのがむしろ一般的です。これらは内部監査の専門性が日本では十分認知されてないことの現れとも言えます。ですが欧米の基準や慣行を権威としてそのまま受容するのも問題で、むしろ欧米からの輸入概念である監査を足下の風土や慣行の中で機能するようにいかに工夫して最適化できるかに監査のプロとしての力量が発揮されます。これが経営に資する内部監査への道のりです。そのような監査の知識や技術と共にその専門能力を組織への貢献に導くマインドセット(心構え)をも兼ね備えた内部監査プロフェッショナルへの行程を一緒に歩いてみませんか。

◆ 講 師 ◆

藤井範彰公認会計士事務所 公認会計士・公認内部監査人 米国公認会計士(現在 inactive) 藤井 範彰 氏

30余年の監査法人勤務の内、約20年は会計監査に専念し、アンダーセンでは監査アプローチの研修・普及活動や公認会計士協会本部の活動(国際委員会副委員長、会計制度委員会副委員長、監査基準委員会委員他)にも従事。続く10余年は、内部監査、内部統制、リスクマネジメント、不正調査に特化し、アンダーセン消滅後は朝日監査法人代表社員を辞してPwC(中央青山監査法人)に移り代表社員も務め、J-SOXの制度化を前に復帰した新日本監査法人(E&Y)で内部統制支援本部統括部長、ビジネスリスクサービズ部長、FIDS(不正対策・係争サポート)部長等を歴任。2012年、シニアパートナーを早期退任し、ボルボ・グループで日本の内部監査統括を務め、同グループ会社UDトラックス株の監査役を7年間務めた後、現在、内部監査や不正対応・ガバナンス関連の講演や研修及び執筆活動に従事。長いコンサルティング経験、事業会社での実務経験をベースに実践的で懇切丁寧な語り口で好評。



【最近の著書】

「内部監査のプロが書く監査報告書の指摘事項と改善提案」同文館出版2016年で2017年度日本内部監査協会青木賞受賞。2019年9月同書第2版出版。他にも著書「内部監査の課題解決法20」2012年税務経理協会、論文「内部監査のアシュアランスの本質論」日本内部監査協会月刊監査研究2018年7月号、「内部監査報告書の本質論と実務対応」同2017年5月号等多数。

◆ 開催要項 ◆

開催予定日：2020年1月31日(金)・2月28日(金)・3月19日(木)・4月24日(金)・5月22日(金)

スケジュール：① 講 義 14:00～16:45

② 自由討議 16:45～17:00 (毎回、藤井講師も参加します)

会 場：東京 四ツ谷駅前 『主婦会館プラザエフ』

第1回

内部監査の本質を理解する全体観

～経営目線で捉える内部監査の仕組み～

1. 内部監査の過去、現代、未来を踏まえたその機能と最近の国内外の潮流
2. 他の監査機能との連携：三様監査の議論からは見えない日本と欧米の監査機能連携の歴史的背景
3. ディフェンス・モデルに学ぶ内部監査の役割(3ラインモデルと4ラインモデル)
4. 経営に資する内部監査の2つの機能(アシュアランス(保証)とコンサルティング)の捉え方

'20
1/31
(金)

第2回

内部監査による不正対応の理解と実践

1. 不正対応と監査との関係：会計士監査・内部統制報告制度(J-SOX)の限界
2. 通常の監査とは異なる不正監査の考え方
3. 内部監査人が行う不正調査と不正調査後の内部統制レビュー
4. 内部通報制度への内部監査の取り組み
5. ビジネスアドバイザーとしての不正対応の取り組み

2/28
(金)

第3回

内部監査の実務の作法

～監査の課題抽出から監査手続きと計画と実施～

3/19
(木)

1. 業務監査の課題の洗い出し：業務の把握からリスク認識（業務プロセス別の内部統制質問書の事例）
2. 内部監査におけるインタビューの留意点、発見事項サマリー、監査手続書と監査計画書の作成例
3. 監査実施の戦略とサンプルテスト（監査におけるサンプリングの理解とサンプルテストの実施）

第4回

内部監査報告の実践作法

～事例に学ぶ最終成果物のスタンダードの作成～

4/24
(金)

1. IIA指針による監査の最終報告の内容の理解と実務展開の留意点
2. 監査報告書の構成要素と記載項目の実務論点
3. 監査意見の標準文書：監査のミッションと実施内容に整合した監査意見の書き方
4. 監査報告における指摘・改善提案の考え方と標準様式と事例検討

第5回

内部監査を支える知識と技術の紹介

～内部監査をレベルアップさせる専門性の習得～

5/22
(金)

1. 内部監査の専門性の捉え方（専門能力と監査プロダクトとの関係、必要な知識とインフラ）
2. 内部監査におけるリスクベースの理論と実務展開
3. C S A（統制自己評価）の実践方法（質問書方式とワークショップ方式）と内部監査における利用
4. データ分析による内部監査のレベルアップ
5. 業務監査とは違う経営監査への高度化の道

◆ 参加要項 ◆

受講料

正会員 **143,000**円（本体価格130,000円） 一般 **165,000**円（本体価格150,000円）

▶ 日時・テーマにより代理の方の出席も可能です。

一日単位での受講も可能です。 ※通信欄の受講希望日にをご記入下さい。

正会員：33,000円（本体価格：30,000円）／一般：36,300円（本体価格：33,000円）×参加日数

申込方法

下記申込書に所定事項ご記入の上、FAXにてお送りいただくか、下記担当者あてEメールにてご連絡下さい。
また、当会ホームページからもお申し込み頂けます。

企業研究会 基本を押さえる内部監査基礎講座

◆ 着信確認のご連絡後、受講票・請求書をお送りします。

◆ お申込後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル2F

TEL：080-2102-1604 FAX：03-5215-0951 E-mail：ishiro@bri.or.jp

一般社団法人 企業研究会 経営管理研究グループ 担当：居代

基本を押さえる内部監査基礎講座 申込書

FAX：03-5215-0951

事業コード：190365

申込日 年 月 日

会社名	
会社所在地	
TEL	FAX
所属・役職名	氏名（フリガナ）
E-mail	
受講希望（いずれかに <input checked="" type="checkbox"/> 印をご記入下さい）	
<input type="checkbox"/> 全講座参加 <input type="checkbox"/> 第1回（'20 1/31(金)） <input type="checkbox"/> 第2回（2/28(金)） <input type="checkbox"/> 第3回（3/19(木)） <input type="checkbox"/> 第4回（4/24(金)） <input type="checkbox"/> 第5回（5/22(金)）	

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する確認、連絡、及び、当会主催セミナー等のご案内に利用させていただきます。